

コロナはまだまだおさまらない。庭のケヤキの根元に、かれんな野菊が三輪咲いた。道端で野菊を
見るとはなくなつた風景が消え去っていく。うん大事なものか消えていく。

読書ノート

● グリム童話集 ① ② ③は早稲田図書館から借りた
アーサー・ラッカム絵、池内紀訳

赤ずきん、シンデレラ、白雪姫、アレーメンの音楽隊、たれもか親しんだグリム童話。これらは、グリム兄弟が暗い森のドイツに伝わったお伽噺を採集し、ドイツ文学として残してくれたものだ。神々や英雄の話でなく、狼、ねずみ、小人、小娘、魔の女……。「民衆の知恵袋にも似たお伽噺」が生々しく幻想的な挿絵と池内紀作らでの巧みな語り口で展開する。あとがきにあるように「です、ます」調はつかわず、軽快なリズムとテンポに思わせる引き込まれる。うちにある白水社の「初版版グリム童話集」にある同じお話を読むとまるで雰囲気からかう。訳者45歳の仕事、グリム兄弟の意志に添った訳とのこと。

● ドームかたり アーサー・ヒナード作
スズキ・コウジ画
玉川大学出版部

「暮しの手帖」で谷川俊太郎推せん絵本、図書館で借りてせむせむ読んで下さい。画家も作家も、渾身の力をこめて作られた絵本ということ強く感じる。どの頁も力強く緻細に、そして戦争への、原爆への憎しみと怒り、平和への強い原爆、死者への思いがストレートに伝わる。広島市の町に1915年、ドームのある「広島県物産記念館」が生まれ、その後名前も役割も変わっていき、30年後の8月6日午前8時15分を境に一変、「原爆ドーム」と呼ばれるようになった。次々と行われた核実験、ウラン・プルトニウム、原子力発電所、人間は何という恐ろしいことをしているのか。この絵本、まず大人が手にとり、子どもたちに伝えたい。

ミズヒキ
赤い小さな花つぼ
庭のあろころに咲く花びんにも生けて
好きなきなむねです

→本にあったレシピ。ひじき40g多すぎ!! いつもの自分流で作ったわ。

ひじき煮 そういえば「しばらく炊けてなかった。常備菜があると気分もラクわ。

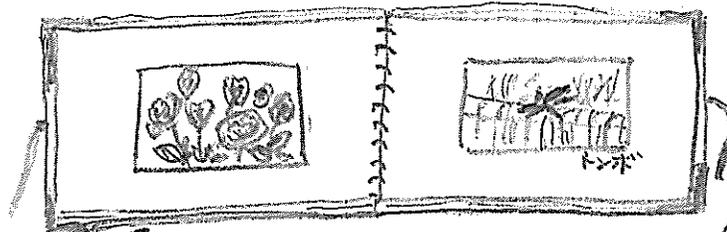
乾燥ひじき 40g 洗って水に15分ほどつけ
油揚げ1枚 湯通しして細切り。

煮汁 (だし汁 $\frac{1}{2}$ カップ、しょうゆ大さじ4、
さとう大さじ2~2.5、みりん大さじ2)

人参 30g、3cm長さのせん切り。
鍋に煮汁を煮立て、材料を入れて、ときどき混ぜながら煮汁がなくなるとまで煮含める。

ひじきごはん
ひじき煮をごはん
に混ぜ、炒り卵を
散らす。
ごぼう、たくわ
んにやく。
ゆで大豆、豆腐など入れるときも、皆さん作ってあげ

棚の奥から出てきた
「私の写真集」 30年近く前、小さなスケッチ
ブックに私が撮った写真
を貼って作った。

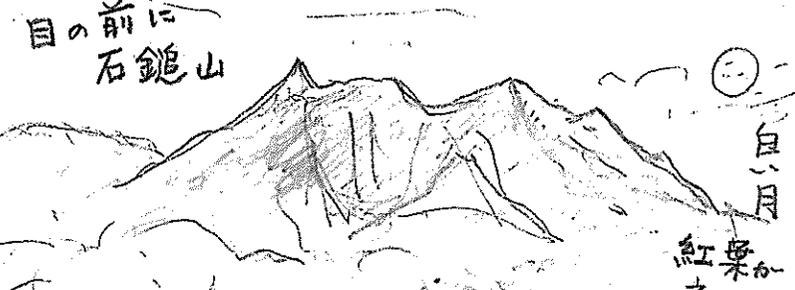


真紅の大きなバラの花、思い出した!
在職中、いつも会議で一緒だった東京の
高橋さんに、あるとき、今治の老舗高橋屋
の美しい干物、ワカメなどをおみやげに。
「高橋屋」の店名をデザインした包装紙。

しばらくして
東京から届いた白い長い箱。
まあ!! 赤いバラの花束!!
見事な深紅のバラの花、高橋さん
からの贈り物!

けやき通信 2020.10月 No.328

— 錦織 佳代子 —



目の前に
石鎚山
紅葉が
初らしい。
白、雪が
湧き上がる
10/6
早朝家を出て
瓶ヶ森(1896M)へ
登山口、寒い
厚手のシャツ、マフラー、ヤッケ。
私はズボンも2枚! GORISAKI
カイロを出してくれた。
足元の
リンドウは
最後の
秋の花
青い色、美しい。

小型のカメラ、フィルム写真は
今も美しい。
一面のハスの花、エリノ木の巨木を前に東京国立博
物館の建物、サツに洗いあげたお茶わん、
大皿の野菜や魚、黄葉した窓辺のケヤキ、
風にゆれるススキのシルエットなど……。

白い長い箱に入ったバラの花を
おてきな男性から贈られる。というのが
私の少女時代の夢でした。
「あしなかにあしさん」が「赤毛のアン」
に出た……?
秘密に胸にしみた夢がかかった。
高橋さんは私より10くらい下の妻であるおたけがな
方でした。

